

# 令和7年度岩出市立山崎北小学校スクールプラン



## 岩出市学校教育指導方針

『未来に輝く子供を育てるために』  
めざす子供像  
『将来に向けた「生きる力」をもった子供』  
■持続可能な社会の創り手へ  
■日本社会に根ざしたウェルビーイングの向上

## 【学 校 教 育 目 標】

校訓：強く 明るく 正しい子

自ら考え、自ら学び、自ら行動できる子供の育成  
～進んで学びよく考える子供 思いやりがあり心豊かな子供 元気でがんばる子供～

## 前年度の学校評価

○学校方針や生活の様子などが分かりやすく、開かれた学校づくりができています  
○教員は子供達と共に活動し、相談に応じている  
○学校行事は子供にとって有意義なものになっている  
○子供は進んであいさつができる⇒72%  
○学校の安全についてよく把握し、指導できている⇒80%  
○子供は授業が楽しくわかりやすいと言っている⇒80%  
○学校は積極的に情報を開示し説明責任を果たしている⇒80%

## 保護者・地域の願い

○環境を整えた中で、学習をさせてほしい  
○学力を向上させてほしい  
○楽しいと思える学校にしてほしい  
○教員の質を向上させてほしい  
○登下校を含め、安全に過ごしてほしい  
○地域に愛着を持てるようになってほしい  
○地域への情報発信を積極的にしてほしい

## 【めざす児童像】

- ・希望を持ち、自ら考え、進んで学習に取り組む子供
- ・自分も友達も大切に、それぞれの良さを認め、豊かな心を持つ子供
- ・心身ともに健康でたくましい子供

## 児童の実態

○一部の子供は、あいさつが進んでできる  
○明るく活発に遊ぶことができる  
○家庭環境や本人の特性から、コミュニケーションや学校生活等に困難を抱えたり、不安や戸惑いを感じたりしている  
○学校や学級のルールを守ることができにくい

## 重点目標

### 確かな学力の向上

- ◎基礎基本の確実な定着
- ◎研究主題「自分の考えを持ち、伝え合う力を高める授業を目指して」(3年目)
- ◎読書活動の推進
- ◎家庭学習の定着・充実

### 豊かな心の育成

- ◎人権教育・道徳教育の充実
- ◎自分のことを大切に、また、友達の良さを認めたり、褒めたりし合える仲間作り
- いじめを生まない雰囲気づくり、未然防止、早期発見、早期対応
- 学校のルールやマナーの遵守

### 健やかな体の育成

- ◎健康で安全な生活習慣の定着
- 食育指導の充実
- ◎生活全般において、児童自ら危機を予測し回避できる力を育む
- ◎体力・運動能力の向上

### 地域に関わった学校

- ◎保護者、地域との連携を密にした学校づくり
- 地域の人材や資源を有効活用した教育活動の充実
- 保幼・中学校との連携の推進

## 具体的な取組

- ◎学力向上4部会(研究授業部会、UD部会、公開授業部会、学力アップ部会)それぞれの取り組みによる授業改善、授業力の向上
- ◎「和歌山の授業づくり 基礎・基本3か条」を活用した授業スタイルの統一
- 朝学、補充学習の工夫と充実
- 家庭学習の推進(家庭学習の手引きの活用)と充実
- ◎図書館司書やボランティアの充実及び活用
- ◎ユニバーサルデザインの考え方に基づく、学習環境及び掲示物の改善と工夫

- ◎教職員の人権教育の理解を深め、実践につながる研修を行う
- ◎学級活動や児童会活動、縦割り活動など、子供たちが主体的に活躍できる機会を設け、お互いを認め尊重し合える居心地のよい学級・学校づくりに努める
- 年3回(学期毎に1回)いじめアンケートを実施する。
- 「特別の教科 道徳」の充実
- ◎校内特別支援教育コーディネーターを中心に、児童の理解及び支援に努める
- ◎SC、SSWの活用及び関係機関等との連携から、児童の理解及び指導・支援に活かす

- 「早寝・早起き・朝ごはん」を養護教諭と協力し、家庭との連携を図る
- ◎病気や事故、災害等から自分を守るための食育や保健教育、安全教育を行う
- ◎避難訓練を3回以上実施(防災教育を含む)
- 情報モラルについて、発達段階に応じ指導を行う。また、保護者への啓発を機会ある事に行う
- 感染症等の予防の徹底
- ◎体育専科教諭を活用し、体育の技術や知識向上に取り組む。また、全国スポーツテストの結果に基づき、体力向上や授業改善を図る

- ◎校報やホームページ等を活用し、保護者、地域へ積極的に学校の様子を発信する
- 授業や行事等を公開する
- 保護者、地域の登下校の見守り活動を実施する
- ◎コミュニティスクールの充実を図る
- 地域人材を活用した学習活動を実施する。
- 保幼、中学校との交流を行う

## 指標

- ・「自分に合った方法で考えることができる」 児童評価90%以上
- ・「話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」 児童評価90%以上
- ・「研究授業をもとにした学び合いの時間を取り入れた授業実践に取り組んでいる」 教員評価90%以上
- ・「朝の学習で読み・書き・計算など基礎学力の定着に努めている」 教員評価100%
- ・「合理的配慮について理解し、学級に応じた支援を行っている」 教員評価90%以上

- ・「お互いを認め合い、人権尊重の意識を高め合える学級経営に日々取り組んでいる」 教員評価100%
- ・「学校に行くのが楽しい」 児童評価90%以上
- ・「自分には良いところがある」 児童評価90%以上
- ・「友達の良いところを見つけることができた」 児童評価90%以上
- ・「子どもは、学校へ行くことを楽しみにしている」 保護者評価90%以上
- ・いじめ解消100% ・不登校を0に近づける
- ・困り感を持った児童、保護者を関係機関等につなぐ 100%

- ・食育授業を各学年1回以上実施する
- ・「朝ご飯を食べた」 児童評価100%
- ・発達段階に応じた情報モラルについての学習を各学年1回以上実施する
- ・「防災・防犯・事故を防ぐ等の安全教育を適切に行っている」 教員評価95%
- ・全国スポーツテスト A層+B層児童60%以上

- ・「学校は開かれた学校づくりに努めている」 保護者評価90%以上
- ・「子どもの様子を積極的に伝えた」 教員評価95%以上
- ・「保護者との連携を図りながら取り組んでいる」 教員評価100%
- ・地域人材の活用 10回以上

◎…特に重点的に取り組むこと